

藻場と保全の取り組み (No. 22)

藻場の名称	広島市南区元字品灯台下		
海域(府県)名*1	広島湾 (広島県)	エリア名*1	
藻場の面積	ha 出典:【 ()】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他 ()		
藻場の特徴	当該地域は、広島湾北部海域に属し人口密度の多い市内を流れた水は、当該地域で攪拌し、海との接点をよく表している。		
保全の取り組み名称	せとうち海援隊		
実施団体名	広島環境サポーターネットワーク河川海洋部会		
連絡先住所	〒739-0321 広島市安芸区中野六丁目 24-11-21		
代表者名	保光 義文	Email	
団体会員数	55名	HP	
(活動の概要) 1997年から太田川上流域を中心として広島市市街地近郊の中小河川を調査している。 また、海域では、太田川や海田湾における河口干潟の調査をし、広島大学などの干潟調査に参画・協力をしている。			
(主な活動内容) 種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他 ()			
(最近の活動実績) 【海洋部会】 平成29年2月12日(日) 元字品灯台下 " 5月11日(土) 倉橋鹿島の瀬戸 " 7月9日(日) 似の島深浦 " 8月20日(日) 坂鯛尾の磯 【河川部会】 平成29年2月19日(日) 三篠川太田川合流地点 " 3月5日(日) 宇賀峡 " 5月7日(日) 三段峡 【定点観測】 平成29年4月9日(日) 広島駅前大橋 " 6月25日(日) 太田川放水路 " 7月23日(日) 広島駅前大橋 【出前講座】 平成29年10月3日(金) 太田川放水路干潟生物調査 外5件			



関連する生物種等	は希少種
希少種の特徴等	
「希少種は存在しない」	

藻場と保全の取り組み (No. 23)

藻場の名称	永田川河口干潟の藻場		
海域(府県)名*1	広島湾(広島県)	エリア名*1	
藻場の面積	0.1ha 出典:【 () 】		
藻場のタイプ	コアマモ		
藻場の特徴	アマモは増殖していたが、2016～2017 にかけて底引き網により削り取られ、皆無です。		
保全の取り組み名称	永田川河口干潟環境の保全再生プロジェクト		
実施団体名	永田川カエル倶楽部		
連絡先住所	〒737-2302 江田島市能美町鹿川 558-1		
代表者名	池田朝雄	Email	consaru-kks@luck.ocn.ne.jp
団体会員数	29名	HP	
(活動の概要)			
① 2015年と2017年の夏休みに藻場の生息域調査を永田川河口干潟で実施			
② アマモは増殖していたが、底引き網漁で削り取られ、皆無になった。			
③ 6月にアオリイカ、コウイカの産卵調査			
(主な活動内容)			
干潟清掃 藻場の測量			
			

関連する生物種等	は希少種
○野鳥: カワウ、アオサギ、カモメ、ヒドリガモ、コガモ ○藻場の生き物: コウイカの卵、アオリイカの卵、イシガニ、ハオコゼ ○海藻(海草): アオサ、ミル、ヒジキ、カキヒビの杭の根元にワカメ ○植物:	
希少種の特徴等	
「希少種は存在しない」	